

仙北新報

秋田民報

発行所
秋田民報社
〒014-0061 大仙市大曲栄町
電話 0187-63
郵便振替口座 秋田

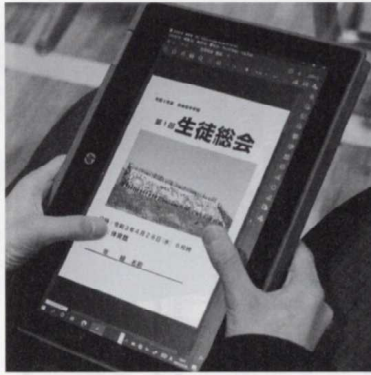
眼科医指定
メガネの
クワサ
TEL 63-2
営業時間 9:00-

きょうの

地元定着促進を
真っ黒になり楽しむ
母子手帳アプリを導入
④面 ③面 ②面

新たな学びのスタイル

デジタル端末が授業で活躍



総会資料も機器にダウンロード

教育に情報通信技術(ICT)を活用する国の「GIGAスクール構想」に基づいて配備されたデジタル端末が、大仙市の小中学校でも活用されている。各校が新たな学びのスタイルを模索している。

大仙市は児童、生徒用と教員用として市内30小中学校に計約5600台を配備。4月から本格的に授業で使い始めた。

約170台が配られた西仙北中学校(千葉雅一校長)では、今年度からICT委員会を新設。各クラスが中心



中心として活躍するICT委員会のメンバー



授業などで機器を積極的に活用



新たなスタイルで行われた総会

となって使用に関するルールを決め、新たな活用方法も考えている。

当面の目標は「定規やコンパスのように学習道具の1つとして使いこなせるようになること」。そのために週1回、タイピング練習の時間を設けているほか、毎朝の健康観察や授業、委員会を行うアンケートなど、あらゆる場面で機器を活用している。

健康観察では、専用アプリにその日の体温や健康状態を入力。養護教諭のパソコンから一人ひとりのデータが一目で確認できるようになっており、体調の把握に役立っている。

授業では、電子黒板や音声付きのデジタル教科書の活用に加え、意見の共有や振り返りなどに使用。授業以外にも、生徒総会の資料をパソコンにダウンロードしてペーパーレス化を図ったりチャット

遠き日の花火の音と 父母の笑み

大曲の花火まつり
あなたの「花火うた」をお聞かせください。

大曲の花火まつり「大曲の花火うた」募集

募集を告げるチラシ

作品を募集中

大曲の花火うた

大仙市民交流プラザのびのびらんどは短歌・俳句・川柳「大曲の花火うた」を募集している。

作品は花火に関するもので、短歌部門は1人1首、俳句、川柳部門は1人2句以内。審査対象外の詩部門も設けられている。新作未発表作品に限る。

応募方法は官製ばかりで郵送または大仙市内の投信箱に備え付け

トを使って委員会の意見交換をしたり、新たな試みが行われている。生徒たちからは「疑問に思ったことをすぐに調べられるのが便利」、「デザインなどにも利用でき、自分の考えを人に伝える方法が増えた」といった声

が上がる。

ICT委員会の三浦煌大さん(14)は「メニューは多いが、モラルやルールの部分でまだまだ課題がある。そのバランスを上手く取りながら使っていければいいと思う」と話す。同校のICT担当教

論は「ICTはあくまで教育ツールの1つで便利だからといって全てをこれに依存するのはなく、触れる、直接目にするといったアナログな感覚も大切にしたい」と語った。